

### 3. 経営成績と財政状態

#### 1. 経営成績

##### (1) 当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、原油価格の高騰等懸念材料もありましたが、設備投資や個人消費などの内需が拡大傾向にあり、国内景気は弱含みながら堅調に推移いたしました。

自動車業界におきましては、国内販売は、前年同期を上回り、四輪車全体の国内生産台数につきましても、北米向け等の海外販売の好調から輸出が増加するなど、前年同期を上回りました。

このような情勢のなかで当社は更なる事業の成果および経営基盤強化のため、08年度に向けて中期経営計画を策定し、次なる発展に向けてスタートいたしました。

**連結売上高**は、418億9千万円となり、前年同期に比べ43億8千万円(前年同期比11.7%増)の増収となりました。製品部門別にみますと、軸受製品では145億円(前年同期比4.0%増)、ダイカスト製品では86億8千万円(前年同期比5.7%増)、ガスケット製品では14億4千万円(前年同期比11.9%減)、組付製品他では57億8千万円(前年同期比41.1%増)、設備・金型製品では112億5千万円(前年同期比19.2%増)となりました。

**連結営業利益**は、15億9千万円となり、前年同期に比べ2億2千万円(前年同期比16.1%増)の増益となりました。

**連結経常利益**は、15億7千万円(前年同期比1.2%減)、**連結中間純利益**は7億9千万円(前年同期比17.8%増)となりました。

##### (2) 通期の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、国内の企業収益が改善していることから、国内景気は本格回復に向けて緩やかな回復が続くものと思われまます。

自動車業界におきましては、世界経済の景気回復および新興国での需要増加を受けて自動車販売の堅調な伸びが期待される一方、部品メーカーのグローバルな受注競争が一層厳しくなるものと思われまます。

このような経営環境のなかで、当企業集団といたしましては、「スピードと変革」をスローガンに掲げ、独自技術と信頼により大競争時代を勝ち抜く提案型の部品メーカーとしてグローバルに展開してまいります。

通期の業績につきましては、**連結売上高**は900億円(前期比17.4%増)、**連結営業利益**は34億円(前期比44.8%増)、**連結経常利益**は32億円(前期比24.0%増)、**連結当期純利益**は14億2千万円(前期比30.9%増)を見込んでおります。

また、当期の配当金は、中間配当9円を含め、1株当たり18円を予定しております。

## 2. 財政状態

### [キャッシュ・フロー]

当中間期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、81億円となり、前期末より8億8千万円増加いたしました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、28億3千万円(前年同期比65.2%増)となり、前年同期に比べ11億1千万円増加いたしました。主な内訳は税金等調整前中間純利益14億9千万円、減価償却費25億5千万円であります。また法人税等の支払額は、7億2千万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、72億円(前年同期比3.2倍)となり、前年同期に比べ49億5千万円増加いたしました。有形固定資産の取得による支出75億8千万円は、主に新製品受注による設備投資および大豊精機(株)・大豊岐阜(株)での工場建設によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、42億8千万円となり、前年同期に比べ44億7千万円増加いたしました。これは主に銀行借入による収入46億1千万円によるものです。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	平成15年 9月期	平成16年 3月期	平成16年 9月期	平成17年 3月期	平成17年 9月期
自己資本比率(%)	64.2	57.5	57.7	49.3	44.9
時価ベースの自己資本比率(%)	44.8	38.3	40.9	39.0	31.0
債務償却年数(年)	0.5	1.8	1.9	2.6	3.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	97.4	111.9	39.7	53.2	26.6

自己資本比率:自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額 / 総資産

債務償却年数:有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ:営業キャッシュ・フロー / 利払い

各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。